

8月度の委員会の主なとりくみ（7/21～8/20）

とりくみ内容別	委員会数	参加人数
産地工場見学	9	220
取引先を講師に学習会	4	108
平和のとりくみ	4	117
内部学習会	1	10
試食会	1	11
その他のとりくみ	10	309
合 計	29	775

- 北坂養鶏場見学
7月24日 春日パル委員会（枚方市）
- ピースイベント in 交野
7月26日 交野東・西・南・北地域活動委員会（交野市）
- ぱるむ見学（スタイル花壇）
7月26日 まさの地域活動委員会（枚方市）
- 熟年向け夏のお化粧（仲栄商事）
7月28日 生野地域活動委員会（大阪市）
- さくら卵と野島断層記念館見学
7月28日 都島北地域活動委員会（大阪市）
- 翼製粉見学
7月28日 宗谷地域活動委員会（枚方市）
- 親子クッキング
7月28日 よさみパル委員会（大阪市）

- 子どもも大人もみんなで楽しく3B体操
7月29日 都島南地域活動委員会（大阪市）
- 大醬見学
7月31日 寝屋川南地域活動委員会（寝屋川市）
- 北淡震災記念公園見学
7月31日 寝屋川中央地域活動委員会（寝屋川市）
- 夏休み手作り体験
8月1日 西地域活動委員会（大阪市）
- 若草食品
8月2日 寝屋川西香里地域活動委員会（寝屋川市）
- 天生素産
8月2日 此花地域活動委員会（大阪市）
- 大山乳業（楽しく冷んやりデザートづくり）
8月2日 寺方南・三郷パル委員会（守口市）
- 北坂養鶏場見学
8月2日 つだ地域活動委員会（枚方市）
- 私のひろしま
8月2日 やまだ地域活動委員会（枚方市）
- おしゃべり喫茶
（手作りおやつとアジア風チキンライス）
8月4日 浪速西・東パル委員会（大阪市）
- パルのつどい
（簡単！プラバンキーホルダーづくり）
8月4日 大正地域活動委員会（大阪市）

- 翼製粉見学
8月8日 南港地域活動委員会（大阪市）
- 天王寺動物園
8月8日 交野南地域活動委員会（交野市）
- 夏休み親子パン作り
8月8日 西パル委員会（寝屋川市）
- イサミ吉備高原牧場見学
8月9日 旭地域活動委員会（大阪市）
- 夏休み親子クッキング
8月9日 鯉江パル委員会（大阪市）
- 憲法カフェ
8月9日 鶴見北地域活動委員会（大阪市）
- COOP商品と一般商品の食べ比べ
8月10日 岩船パル委員会（交野市）
- 天王寺動物園
8月12日 池田パル委員会（寝屋川市）
- 豆紀見学
8月18日 天王寺地域活動委員会（大阪市）
- イサミ吉備高原牧場見学
8月18日 東住吉北地域活動委員会（大阪市）
- 手焼きナンのカレーフォンジュ
8月19日 榎本パル委員会（大阪市）

※とりくみのお知らせは該当地域の共同購入・個配の組合員さんにお届けしています。

みんなに広めよう!!

私のお気に入り 募集!!

- 食べた感想、使った感想
- わが家での使い方（アレンジレシピも大歓迎）
- おすすめポイントなど

- お気に入り商品の名前（雑貨でもOK）
- 商品のエピソード

- ①住所
 - ②お名前
 - ③組合員コード
- をご記入のうえ、お気軽にご応募ください!!



写真も一緒に

※応募いただいた写真はお返すことができません。ご了承ください。

- （例）●商品と人物が一緒に写っているもの
※お写真はご本人さんでも子どもさんでもOKです
- 使っているところの写真（料理の写真など）

HPの専用フォームからの応募



ご応募いただきました内容は、順次ぱるタイムで紹介させていただきます。ご紹介させていただいた方には図書カードをプレゼント☆
 ※商品のリクエストコーナーではありません

郵送の場合：〒534-0024
 大阪市都島区東野田町1-5-26
 おおさかパルコープ 機関紙ぱるタイム係
 メールの場合：paltime@palcoop.or.jpまでお送りください。

＜5ページの「エコフイズ」の答え＞①88.4%（レジ袋約613枚分：2016年度） ②トイレットペーパー

どうなる私たちの主食

～これからも食べ続けられるの？日本のお米～

「主食という概念を持っている国は少ないということに驚きました。それだけに日本人にとって米は大事な物。それなのに減反したり生産量をコントロールしておいて、米の輸入をしているなんて、おかしい事だと思いました。農業を運ぶ手間、安全性など色々考えても一番だと思います。」

「日本人が3度の食事で米が安定的に食べられるようになったのが昭和35年ごろ。お米の自給率が100%になりました。国は生産調整を行いながらお米の生産に関わってきました。しかし、来年からは価格も需給も市場まかせにし、農家の自己責任の下で生産を続けるしくみに変更、お米が余っても国は保証しないという政策に移行しようとしています。市場に売れるものを売れる量だけつくれというのが国の方針ですが、それでは日本の農業が存続できなくなってしまう」と湯川さん。それに比べて海外では、販売価格が生産費基準の目標価格を下回った場合、その差額を補償する制度や、収入低下の影響を緩和するための収入保険など、農業を手厚く保証するための国の保護政策があるということも学びました。

「主食という概念を持っている国は少ないということに驚きました。それだけに日本人にとって米は大事な物。それなのに減反したり生産量をコントロールしておいて、米の輸入をしているなんて、おかしい事だと思いました。農業を運ぶ手間、安全性など色々考えても一番だと思います。」

京橋事務所（本部）
 参加85名（組合員活動委員）

2017年度
 第3回
 推進学習会
 （8月1日）



講師の湯川さん

2018年に、お米に関する国の制度のしくみが変わろうとしています。お米についての国の考え方や制度の変遷を学び、制度の改革が私たちにどのような影響を及ぼすのかを知る機会になればと、農民間全国連合会で米対策部事務局長をしておられる湯川喜朗さんをお招きし、お話をうかがいました。

参加者の感想

- お米はいつでも、いつまでも日本で食べられる主食だと思っていましたが、それも危うくなっていることを痛感しました。
- 主食という概念をもっている国は少ないということに驚きました。それだけに日本人にとって米は大事な物。それなのに減反したり生産量をコントロールしておいて、米の輸入をしているなんて、おかしい事だと思いました。農業を運ぶ手間、安全性など色々考えても一番だと思います。

「も安全『手に入りやすい』『おかずの邪魔をしない』など、とりあえず毎日食べられるものでなくてはいいけません」と湯川さんはいいます。お米を守るために私たち消費者ができることとしては、国産のものを食べるように意識すること、お米の消費量を増やすため、小中学校の学校給食に米飯を取り入れる運動をすること、などがあげられました。最後に「最近給食費が払えないというような家庭も多いので、無償化の運動も大切だと思います。労働者がしつかり食べられるだけの賃金を得られるようにするための運動にも共感していただきたい。労働者だけでなく、年金・社会保障の充実、生活保護であっても豊かな食生活を送ることができるよう世の中をつくる。食べることによって社会を変えたいという観点をもって行動に移していただきたい」と締めくくられました。

★地域の委員さん こんにちは★



地域で様々な活動をされている地域活動委員さん・パル委員さん。そんな委員さんに突撃インタビュー!! 活動内容はもちろん、委員さんになられたきっかけやこぼれ話などをお伺いし、紹介していくコーナーです☆

「もう20年近くパル委員をしているかしら」と、言われているのは西都島パル委員の山本さん。

「当時お友達に工場の見学会に誘ってもらって楽しくて、委員になれば何か得るものがあると思い、ここまでできました。委員になって良かったことは、知り合いがたくさん増えたこと。色んな年代の方と幅広くお付き合いができることがいいですね。子育て中は先輩たちに色々相談できました。それに、商品などの情報をひと足先に知れるし、添加物やカタログに載っている商品の見方など、ただ組合員であるだけでは分からなかっただろうことも勉強できます」

山本さんたちの活動する地域には東都島店があるので、お店を拠点に試食会や商品学習会、都島区民センターで講習会を開いたり、産地・工場見学などいろんな活動をされています。



自分にとってプラスになっています。

※パルコープエリアには地域活動委員会が66、その中のパル委員会は178カ所あります。興味のある方は、9ページ下の組合員サービスセンターにお問い合わせください。

今号10ページのアンケートにもお答えください